

7.差別・差別的な言動について

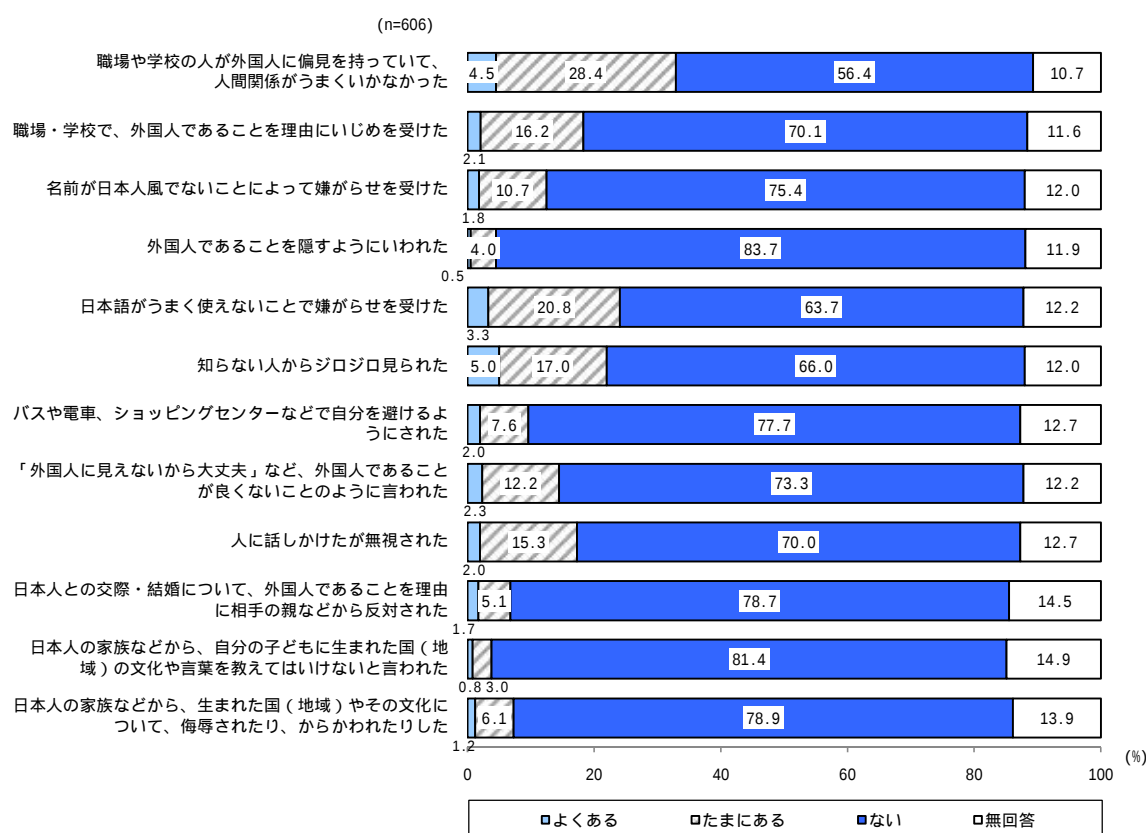
Q34 あなたは過去5年間に次のような経験をしたことがありますか。(単一回答)

過去5年間の差別的な言動の経験について、過去5年間に経験したことが「よくある」と回答した割合は、「知らない人からジロジロ見られた」が5.0%、「職場や学校の人が外国人に偏見を持っていて、人間関係がうまくいかなかった」が4.5%となっている。

「よくある」及び「たまにある」と回答した割合を合わせると、「職場や学校の人が外国人に偏見を持っていて、人間関係がうまくいかなかった」が32.9%で最も高い。次いで、「日本語がうまく使えないことで嫌がらせを受けた」が24.1%、「知らない人からジロジロ見られた」が22.0%と続く。

前回調査と比較して、それぞれ大きな差はみられない。

【全体】



【前回比較】

		(%)				
		全 体	よ く あ る	た ま に あ る	な い	無 回 答
1 職場や学校の人が外国人に偏見を持っていて、人間関係がうまく いかなかった(親しくできなかった)	今回(R4)	606	4.5	28.4	56.4	10.7
	前回(R1)	626	6.2	31.0	52.9	9.9
2 職場・学校で、外国人であることを理由にいじめを受けた	今回(R4)	606	2.1	16.2	70.1	11.6
	前回(R1)	626	3.2	16.1	69.5	11.2
3 名前が日本人風でないことによって嫌がらせを受けた	今回(R4)	606	1.8	10.7	75.4	12.0
	前回(R1)	626	2.1	10.7	76.2	11.0
4 外国人であることを隠すようにいわれた	今回(R4)	606	0.5	4.0	83.7	11.9
	前回(R1)	626	1.0	5.9	81.3	11.8
5 日本語がうまく使えないことで嫌がらせを受けた	今回(R4)	606	3.3	20.8	63.7	12.2
	前回(R1)	626	3.4	18.1	67.9	10.7
6 知らない人からジロジロ見られた	今回(R4)	606	5.0	17.0	66.0	12.0
	前回(R1)	626	5.0	17.9	65.8	11.3
7 バスや電車、ショッピングセンターなどで自分を避けるように された	今回(R4)	606	2.0	7.6	77.7	12.7
	前回(R1)	626	0.6	8.5	79.2	11.7
8 「外国人に見えないから大丈夫」など、外国人であることが良 くないことのように言われた	今回(R4)	606	2.3	12.2	73.3	12.2
	前回(R1)	626	1.9	15.8	70.8	11.5
9 人に話しかけたが無視された	今回(R4)	606	2.0	15.3	70.0	12.7
	前回(R1)	626	2.1	14.9	71.1	12.0
10 日本人との交際・結婚について、外国人であることを理由に相手 の親から反対された	今回(R4)	606	1.7	5.1	78.7	14.5
	前回(R1)	626	2.2	5.9	79.1	12.8
11 日本人の家族などから、自分の子どもに生まれた国(地域)の文 化や言葉を教えてはいけないと言われた	今回(R4)	606	0.8	3.0	81.4	14.9
	前回(R1)	626	0.6	2.1	84.0	13.3
12 日本人の家族などから、生まれた国(地域)やその文化について、 侮辱されたり、からかわれたりした	今回(R4)	606	1.2	6.1	78.9	13.9
	前回(R1)	626	1.3	9.4	76.8	12.5

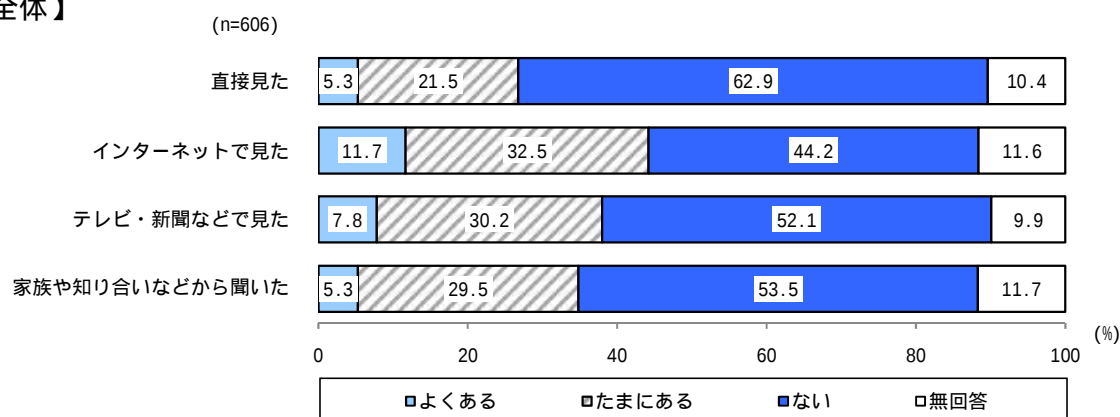
Q35 あなたは、日本に住む外国人を排除するなどの差別的なデモ、街頭宣伝活動、ビラ・チラシ、インターネットでの書き込みなどを見たり、聞いたりしたことはありますか。(単一回答)

差別的な言動を見聞きした経験について、「よくある」と回答した割合は「インターネットで見た」が11.7%で最も高く、次いで「テレビ・新聞などで見た」が7.8%となっている。

「よくある」及び「たまにある」と回答した割合を合わせると、「インターネットで見た」が44.2%、「テレビ・新聞などで見た」が38.0%と高くなっている。

前回調査と比較して、それぞれ大きな差はみられない。

【全体】



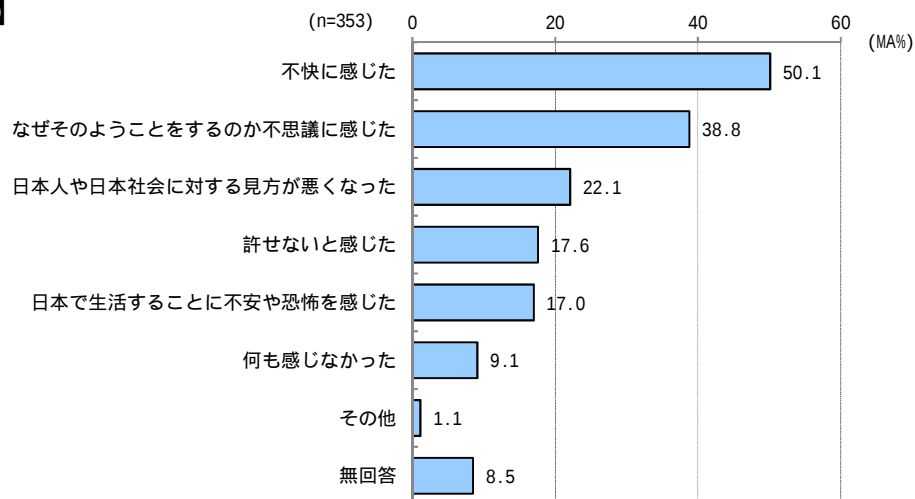
【前回比較】

			(%)			
		全 体	よく ある	たま にある	ない	無 回 答
1 直接見た	今回(R4)	606	5.3	21.5	62.9	10.4
	前回(R1)	626	6.7	22.4	60.2	10.7
2 インターネットで見たと	今回(R4)	606	11.7	32.5	44.2	11.6
	前回(R1)	626	9.9	30.5	48.1	11.5
3 テレビ・新聞などで見た	今回(R4)	606	7.8	30.2	52.1	9.9
	前回(R1)	626	8.3	32.7	50.8	8.1
4 家族や知り合いなどから聞いた	今回(R4)	606	5.3	29.5	53.5	11.7
	前回(R1)	626	5.3	29.9	54.6	10.2

Q35で「よくある」「たまにある」に1つでも○をつけた方にお聞きします。
Q35—1 それを見たり、聞いたりした時にどのように感じましたか。
(複数回答)

差別的な言動を見たり、聞いた時どのように感じたかは、「不快に感じた」が50.1%と最も多く、次いで、「なぜそのようなことをするのか不思議に感じた」が38.8%、「日本人や日本社会に対する見方が悪くなった」が22.1%、「許せないと感じた」が17.6%、「日本で生活することに不安や恐怖を感じた」が17.0%となっている。

【全体】

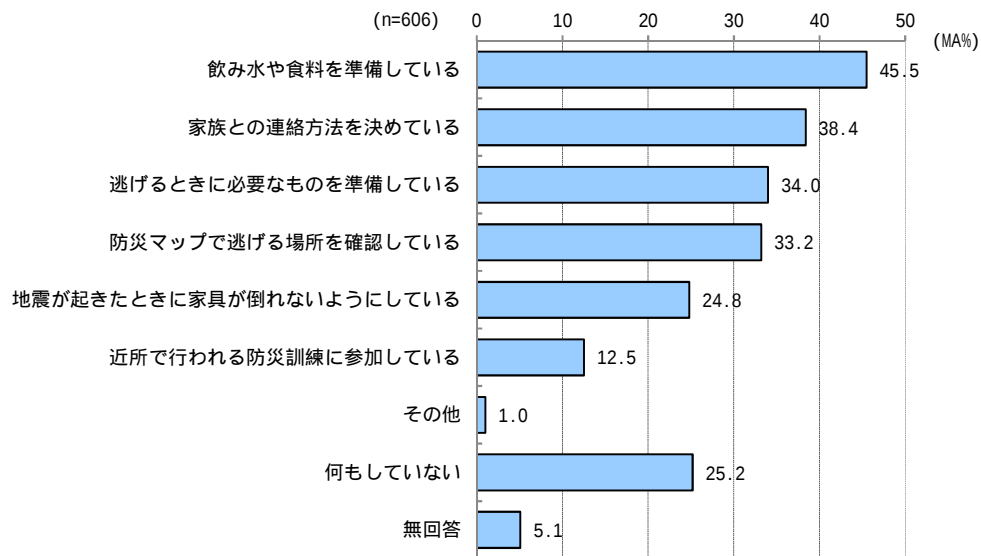


8.防災について

Q36 あなたは災害（地震や台風など）が起きた時のためにどんな準備をしていますか。（複数回答）

災害のための準備は、「飲み水や食料を準備している」が45.5%と最も多く、次いで、「家族との連絡方法を決めている」が38.4%、「逃げるときに必要なもの（ラジオ、薬、現金など）を準備している」が34.0%、「防災マップ（逃げる場所が書いてある地図）で逃げる場所を確認している」が33.2%、「地震が起きたときに家具が倒れないようにしている」が24.8%となっている。前回調査と比較して、「何もしていない」の割合が7.3ポイント高い。

【全体】



【前回比較】

		家族との連絡方法を決めている	飲み水や食料を準備している	逃げるときに必要なものを準備している	地震が起きたときに家具が倒れないようにしている	防災マップで逃げる場所を確認している	近所で行われる防災訓練に参加している	その他	何もしていない	無回答
今回 (R4)	606	38.4	45.5	34.0	24.8	33.2	12.5	1.0	25.2	5.1
前回 (R1)	626	42.0	57.2	39.0	26.2	33.7	11.0	1.0	17.9	2.7

Q37 あなたは地震、津波、台風などの災害の情報をどこから手に入れていますか。(複数回答)

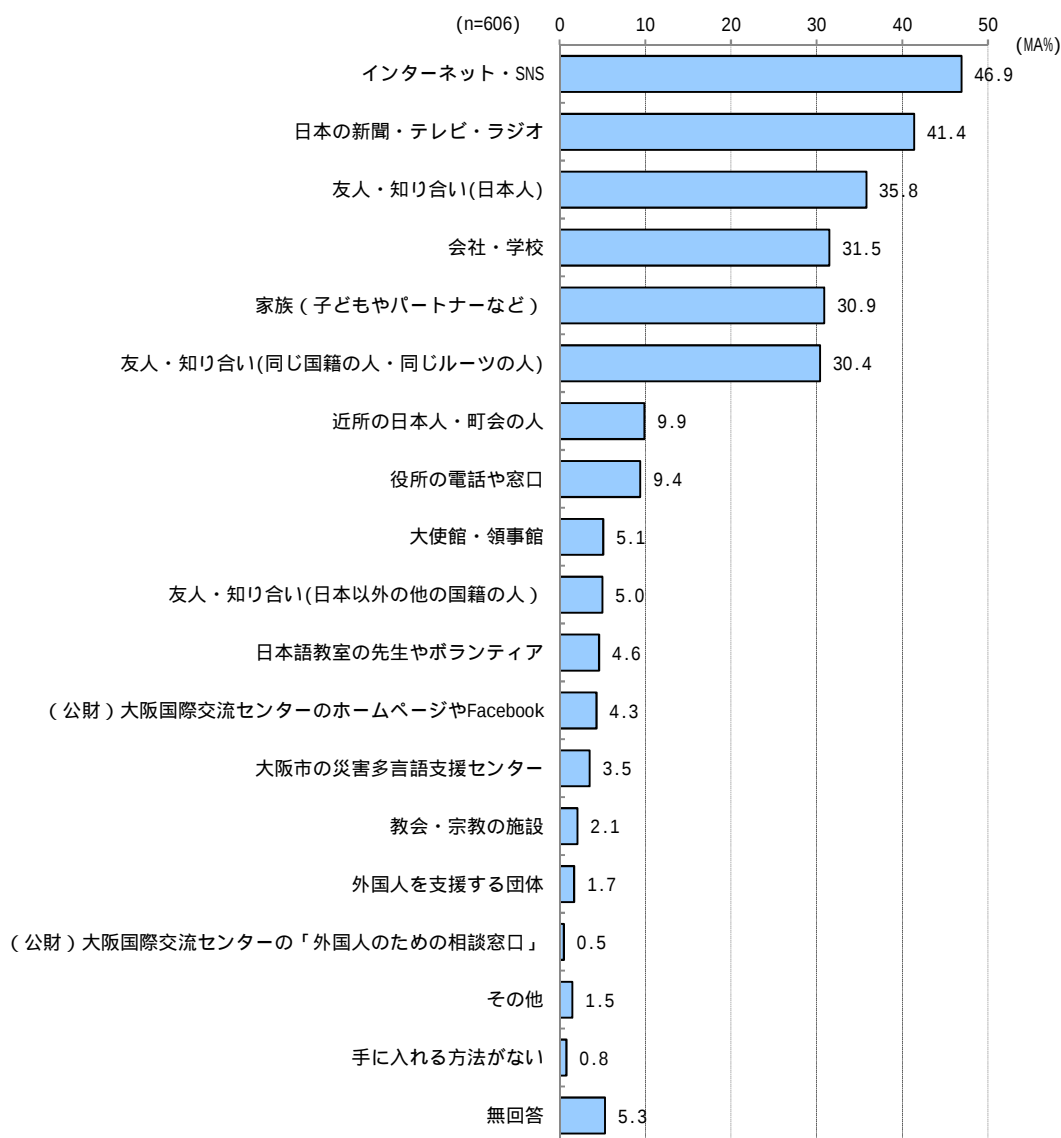
災害情報を手に入れる方法は、「インターネット・SNS」が46.9%と最も多く、次いで、「日本の新聞・テレビ・ラジオ」が41.4%、「友人・知り合い(日本人)」が35.8%、「会社・学校」が31.5%、「家族(子どもやパートナーなど)」が30.9%、「友人・知り合い(日本以外の他の国籍の人)」が30.4%となっている。

前回調査と比較して、「友人・知り合い(日本人)」が10.8ポイント低い。

日本語能力別では、それぞれ大きな違いはみられない。

在留資格別では、「就労資格」で「インターネット・SNS」の割合が7割以上と高くなっている。

【全体】



【前回比較】

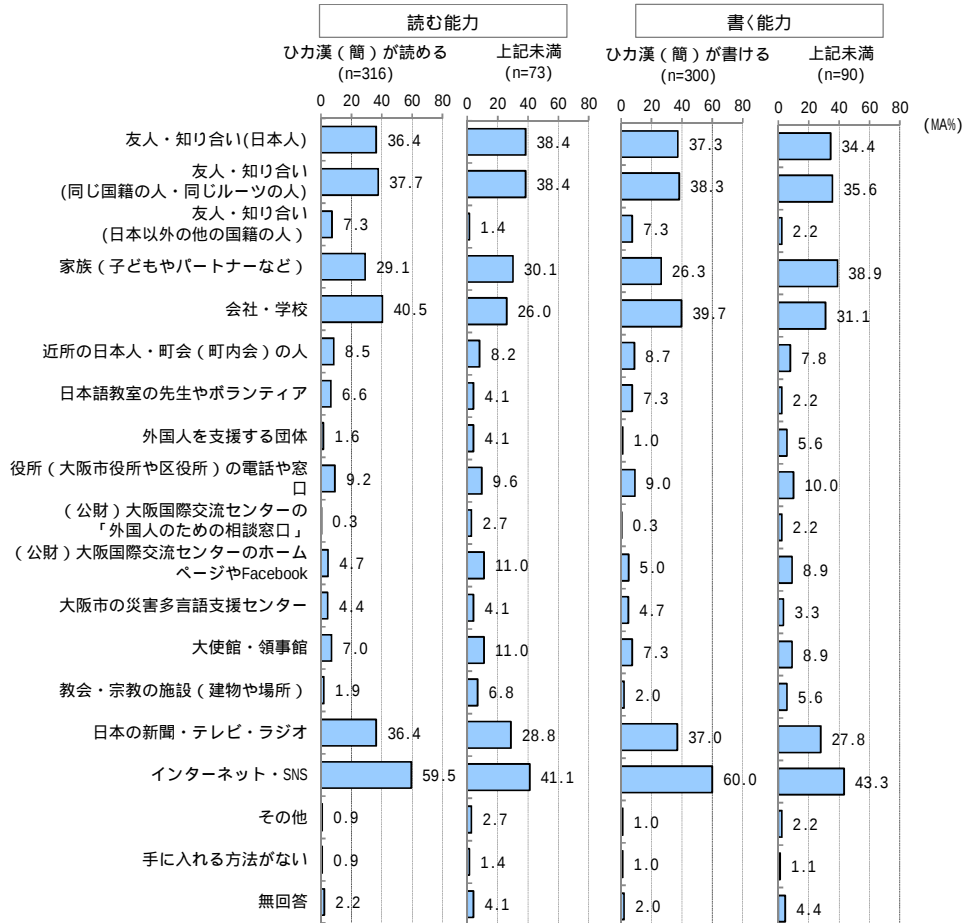
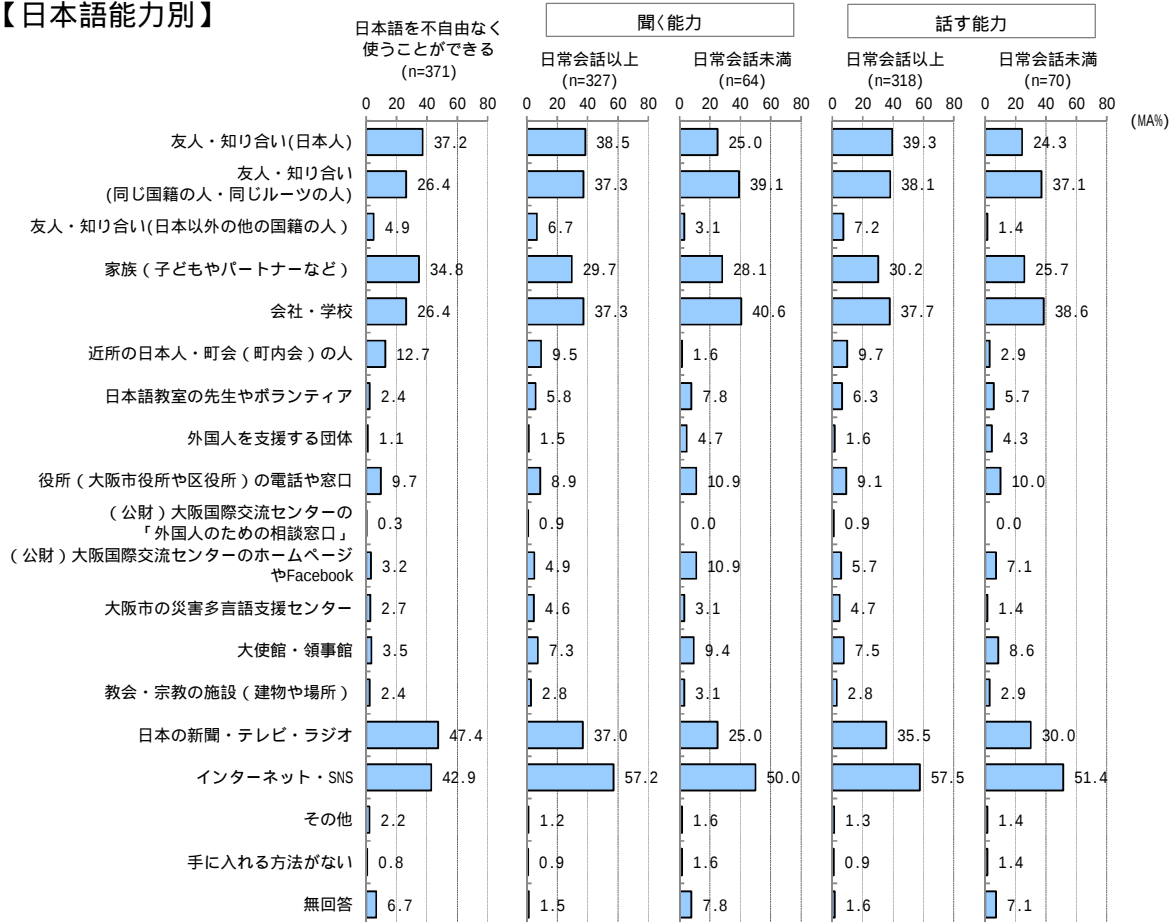
	全 体	友人・知り合い（本人）	友人・知り合い（同じ国籍の人・同じルーツの人）	友人・知り合い（日本以外の他の国籍の人）	家族（子どもやパートナーなど）	会社・学校	近所の日本人・町会の人	日本語教室の先生やボランティア	外国人を支援する団体	役所の電話や窓口
今回(R4)	606	35.8	30.4	5.0	30.9	31.5	9.9	4.6	1.7	9.4
前回(R1)	626	46.6	31.6	6.5	39.0	35.0	10.2	5.9	1.0	5.9

(MA%)

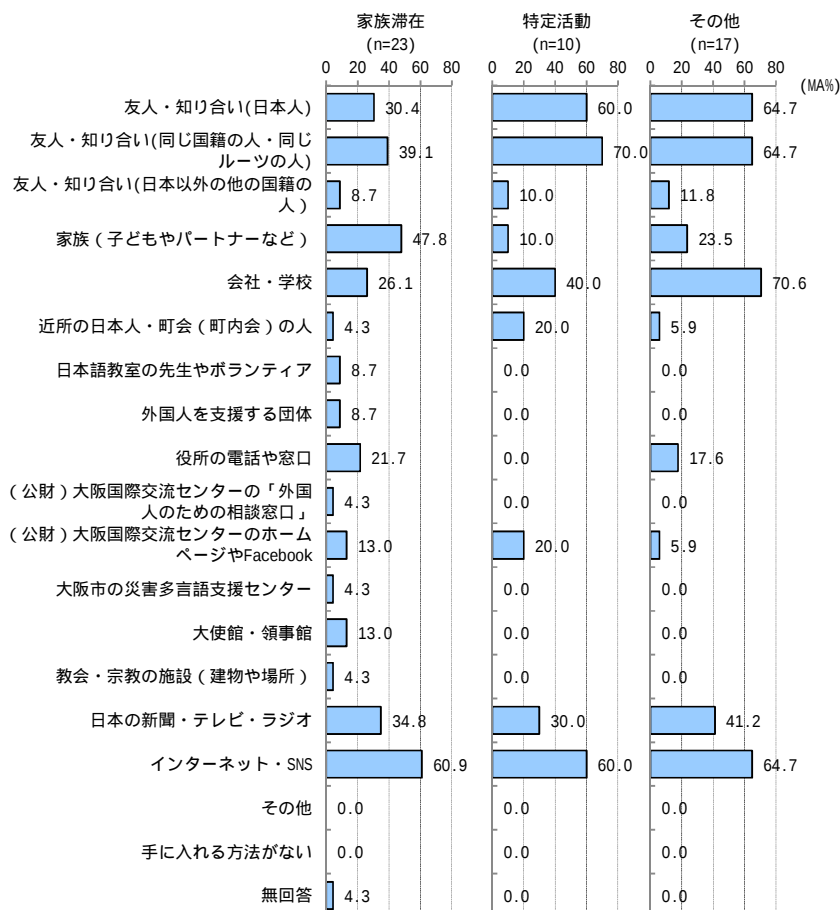
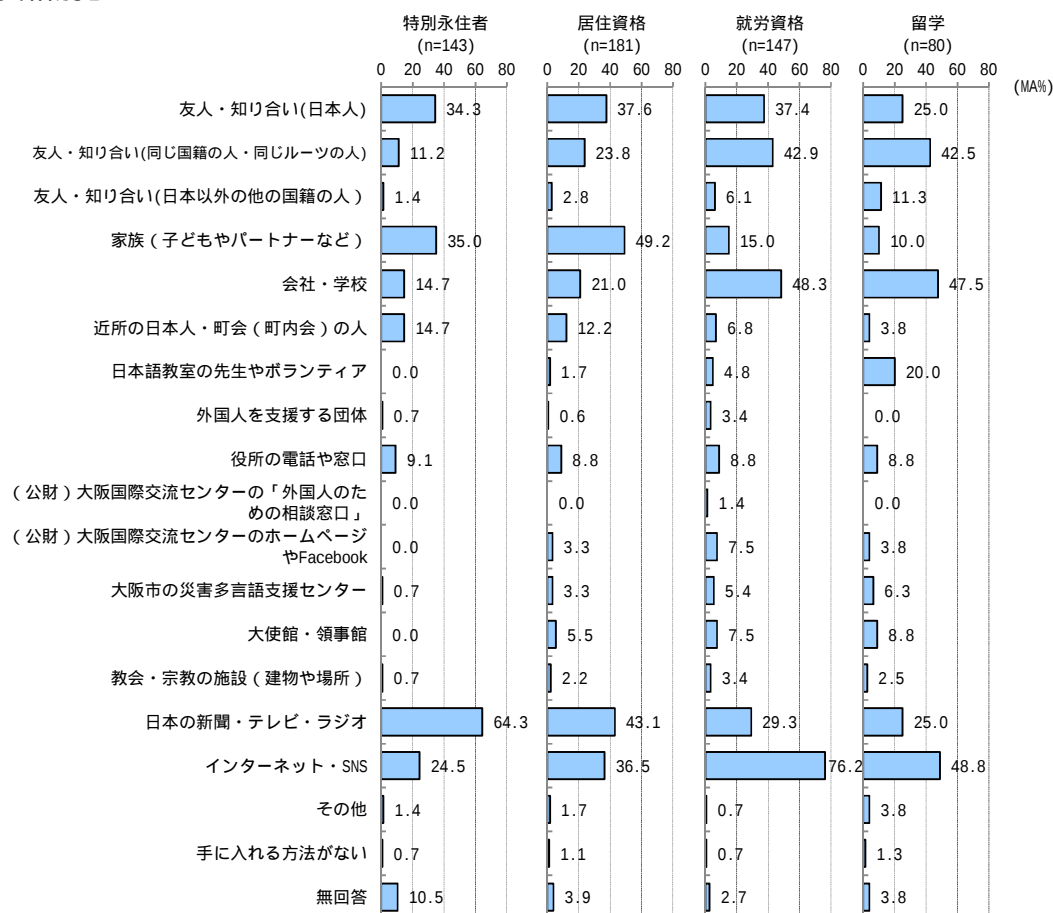
（注）

無回答	手に入れる方法がない	その他	インターネット・SNS	日本の新聞・テレビ・ラジオ	教会・宗教の施設	大使館・領事館	大阪市の災害多言語支援センター	（公財）大阪国際交流センターのホームページ	（公財）大阪国際交流センターの「外国人のための相談窓口」
5.3	0.8	1.5	46.9	41.4	2.1	5.1	3.5	4.3	0.5
0.0	0.0	1.1	54.6	57.7	2.1	3.5	1.3	2.2	0.3

【日本語能力別】



【在留資格別】

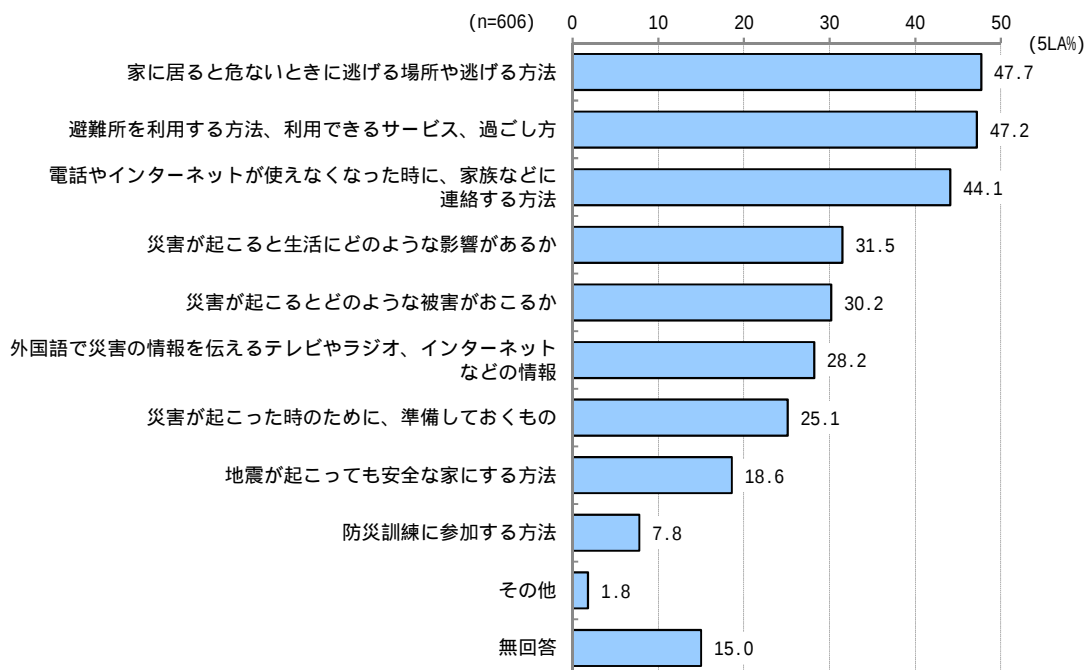


Q38 あなたは災害に備えた準備をするために、どのようなことが知りたいですか。
(複数回答(5つまで))

災害準備のために知りたいことは、「家に居ると危ないときに逃げる場所や逃げる方法」が47.7%と最も多く、次いで、「避難所(逃げる場所)を利用する方法、利用できるサービス、過ごし方」が47.2%、「電話やインターネットが使えなくなった時に、家族などに連絡する方法」が44.1%、「災害が起こると生活にどのような影響があるか」が31.5%、「災害が起こるとどのような被害がおこるか」が30.2%となっている。

前回調査と比較して、「地震が起こっても安全な家にする方法」で11.3ポイント、「防災訓練に参加する方法」で9.5ポイント低い。

【全体】



【前回比較】

		(5LA%)										
	全 体	被害が おこる か	災害が おこる とどの よう な	災害が おこる とどの よう な	災害が おこる とどの よう な	災害が おこる とどの よう な	災害が おこる とどの よう な	災害が おこる とどの よう な	災害が おこる とどの よう な	災害が おこる とどの よう な	災害が おこる とどの よう な	災害が おこる とどの よう な
今回(R4)	606	30.2	31.5	28.2	47.7	47.2	44.1	25.1	18.6	7.8	1.8	15.0
前回(R1)	626	35.9	36.1	29.9	54.5	48.6	52.7	34.3	29.9	17.3	1.6	8.5

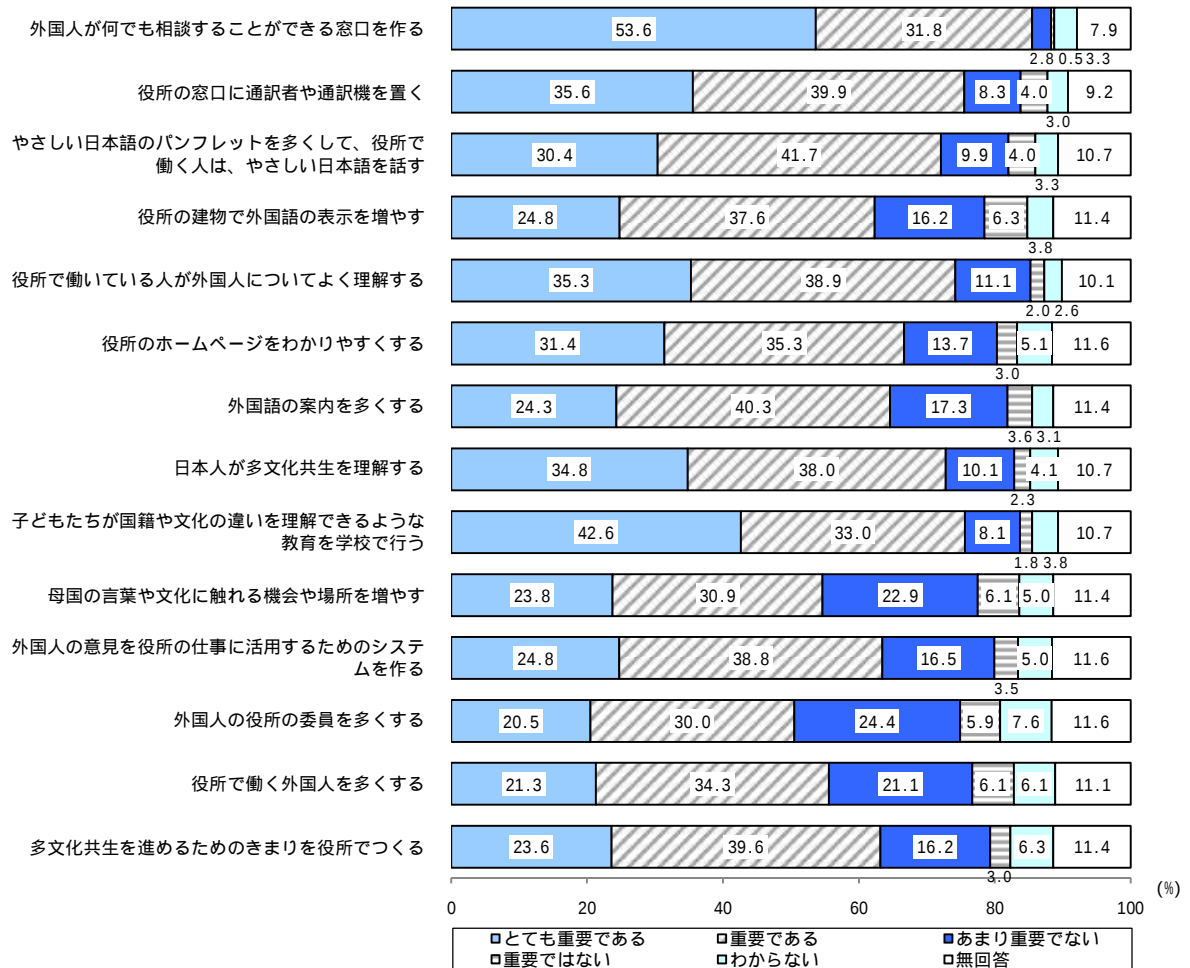
9. 多文化共生について

Q39 外国人や日本人など、色々な文化を持つ人たちが一緒に生きることができる社会（多文化共生社会）をつくるために、あなたは次のようなことは重要だと思いますか。（単一回答）

多文化共生社会をつくるために重要だと思うことについて、「とても重要である」は、「外国人がなんでも相談できる窓口を作る」が53.6%、「子どもたちが国籍や文化の違いを理解できるような教育を学校で行う」が42.6%、「役所の窓口に通訳者や通訳機を置く」が35.6%と多くなっている。前回調査と比較して、それぞれ大きな差はみられない。

【全体】

(n=606)



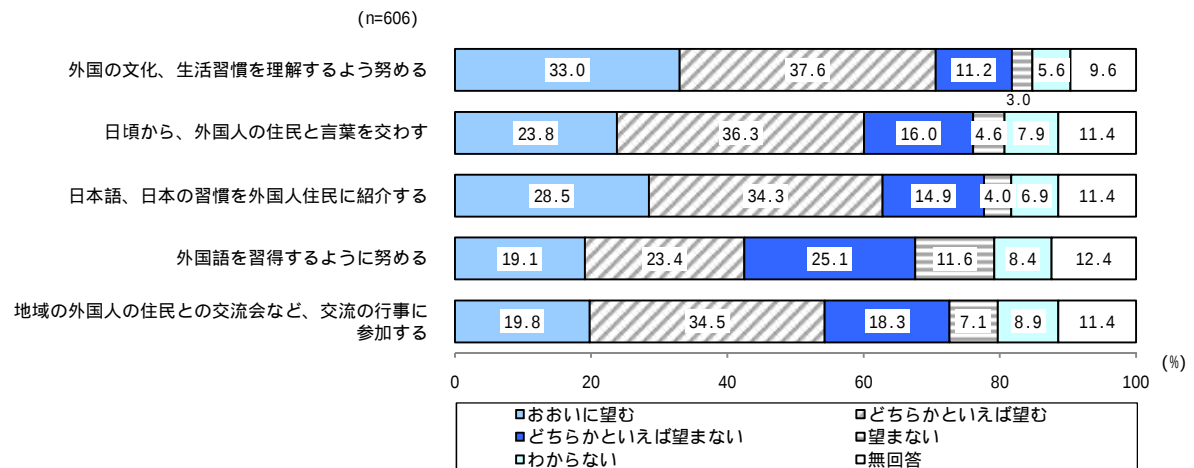
【前回比較】

(%)

		全 体	と も も 重 要 で あ る	重 要 で あ る	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で は な い	わ か ら な い	無 回 答
1 外国人が何でも相談することができる窓口を作る	今回(R4)	606	53.6	31.8	2.8	0.5	3.3	7.9
	前回(R1)	626	47.8	34.3	5.0	1.4	3.7	7.8
2 役所の窓口に通訳者や通訳機を置く	今回(R4)	606	35.6	39.9	8.3	4.0	3.0	9.2
	前回(R1)	626	32.9	38.3	12.8	3.4	3.8	8.8
3 やさしい日本語のパンフレットを多くして、役所で働く人は、やさしい日本語を話す	今回(R4)	606	30.4	41.7	9.9	4.0	3.3	10.7
	前回(R1)	626	29.6	42.5	11.7	1.9	4.6	9.7
4 役所の建物で外国語の表示を増やす	今回(R4)	606	24.8	37.6	16.2	6.3	3.8	11.4
	前回(R1)	626	24.6	42.8	15.8	3.2	4.2	9.4
5 役所で働いている人が外国人についてよく理解する	今回(R4)	606	35.3	38.9	11.1	2.0	2.6	10.1
	前回(R1)	626	39.0	39.5	7.0	1.8	3.2	9.6
6 役所のホームページをわかりやすくする	今回(R4)	606	31.4	35.3	13.7	3.0	5.1	11.6
	前回(R1)	626	30.0	38.5	12.1	2.6	6.5	10.2
7 外国語の案内を多くする	今回(R4)	606	24.3	40.3	17.3	3.6	3.1	11.4
	前回(R1)	626	24.6	43.0	13.7	3.4	4.5	10.9
8 日本人が多文化共生を理解する	今回(R4)	606	34.8	38.0	10.1	2.3	4.1	10.7
	前回(R1)	626	37.7	35.5	10.5	2.1	4.6	9.6
9 子どもたちが国籍や文化の違いを理解できるような教育を理解できるような教育を学校で行う	今回(R4)	606	42.6	33.0	8.1	1.8	3.8	10.7
	前回(R1)	626	44.7	32.6	7.5	1.4	4.8	8.9
10 母国（生まれた国やルーツのある国）の言葉や文化に触れる機会を増やす	今回(R4)	606	23.8	30.9	22.9	6.1	5.0	11.4
	前回(R1)	626	20.0	32.1	25.7	5.1	6.5	10.5
11 外国人の意見を役所の仕事に活用するためのシステムを作る	今回(R4)	606	24.8	38.8	16.5	3.5	5.0	11.6
	前回(R1)	626	22.2	38.3	18.7	2.6	7.7	10.5
12 外国人の役所の委員を多くする	今回(R4)	606	20.5	30.0	24.4	5.9	7.6	11.6
	前回(R1)	626	17.3	27.5	28.8	6.1	9.6	10.9
13 役所で働く外国人を多くする	今回(R4)	606	21.3	34.3	21.1	6.1	6.1	11.1
	前回(R1)	626	18.2	28.9	26.7	7.2	8.3	10.7
14 多文化共生を進めるためのきまりを役所でつくる	今回(R4)	606	23.6	39.6	16.2	3.0	6.3	11.4
	前回(R1)	626	20.3	35.9	18.8	4.8	9.9	10.2

Q40「多文化共生の地域づくり」を進めるにあたり、あなたは地域の日本人住民に対して何を望みますか。(単一回答)

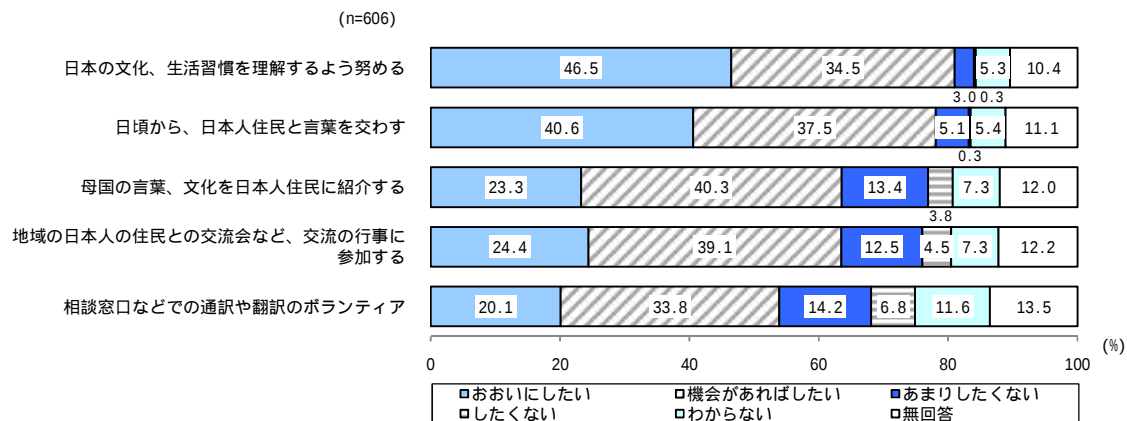
「多文化共生の地域づくり」のために地域の日本人住民に対して望むことについて、「おおいに望む」は、「外国の文化、生活習慣を理解するように努める」が33.0%、「日本語、日本の習慣を外国人に紹介する」が28.5%、「日頃から外国人の住民と言葉を交わす」が23.8%と多くなっている。



Q41 「多文化共生の地域づくり」を進めるにあたり、あなたは以下のことをどの程度したいと思いますか。（単一回答）

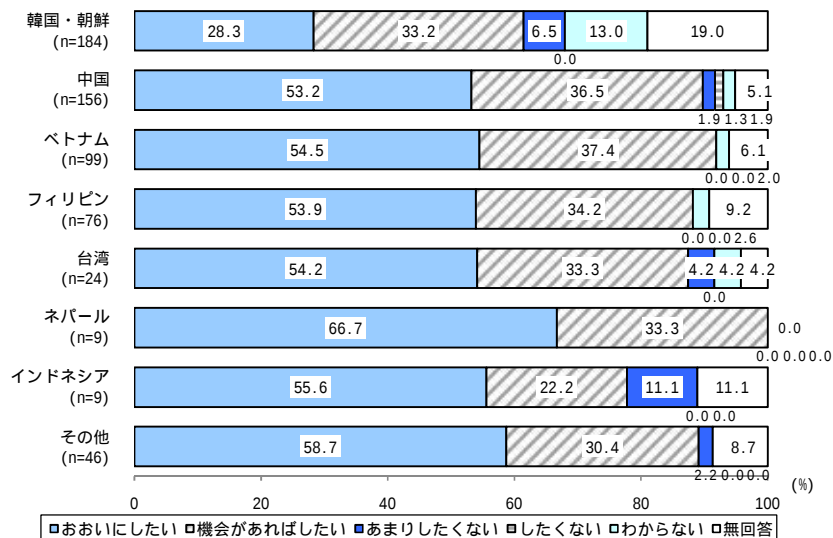
「多文化共生の地域づくり」を進めるにあたりしたいと思うことについて、「おおいにしたい」は、「日本の文化、生活習慣を理解するよう努める」が46.5%、「日頃から日本人住民と言葉を交わす」が40.6%と多くなっている。

「国籍別」「日本在住年数別」「在留資格別」の結果は以下の通り。

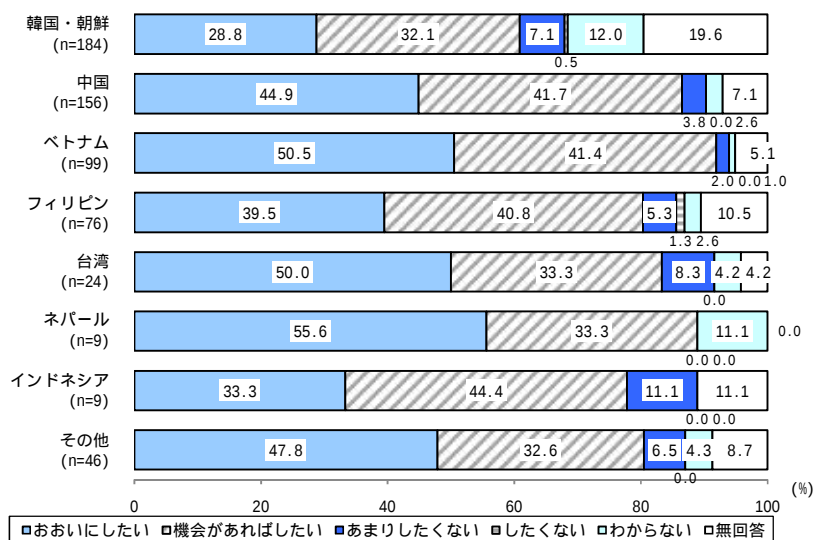


【国籍別】

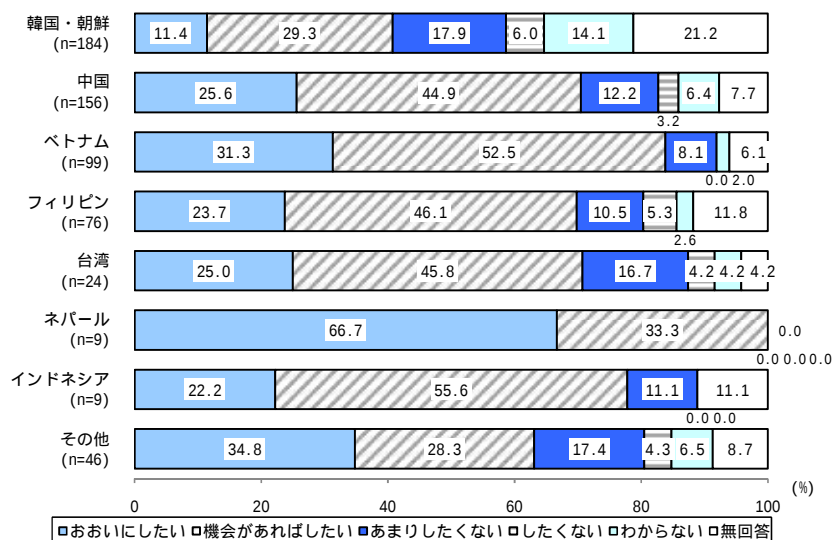
1 日本の文化、生活習慣を理解するよう努める



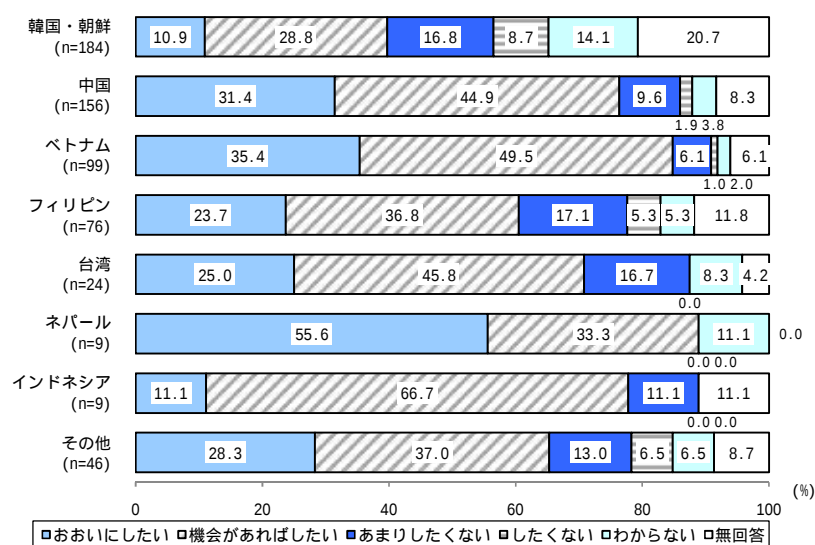
2 日頃から、日本人住民と言葉を交わす



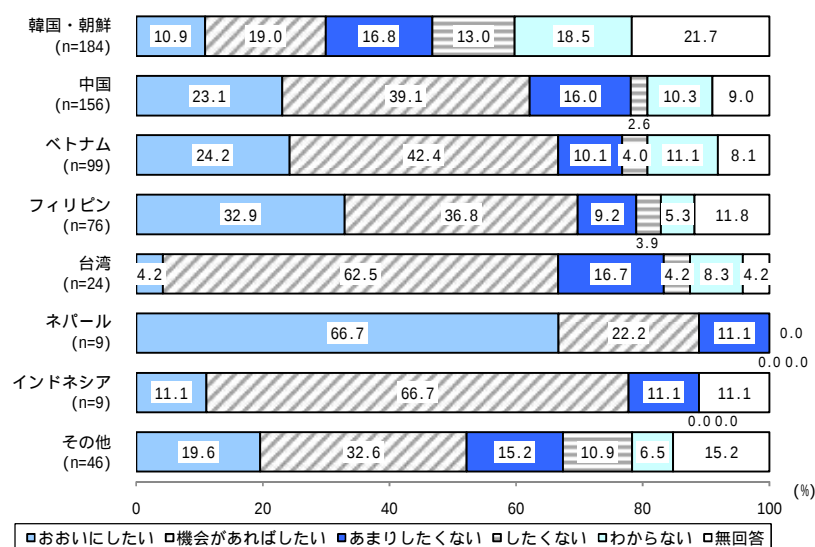
3 母国の言葉、文化を日本人住民に紹介する



4 地域の日本人の住民との交流会など、交流の行事に参加する

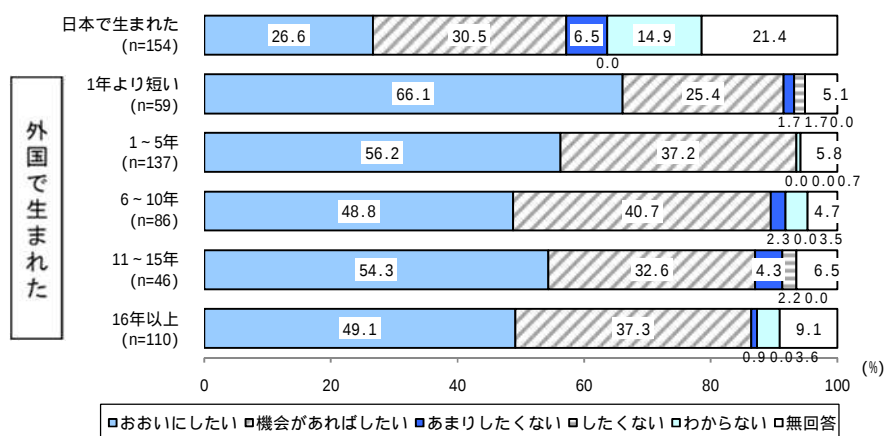


5 相談窓口などでの通訳や翻訳のボランティア

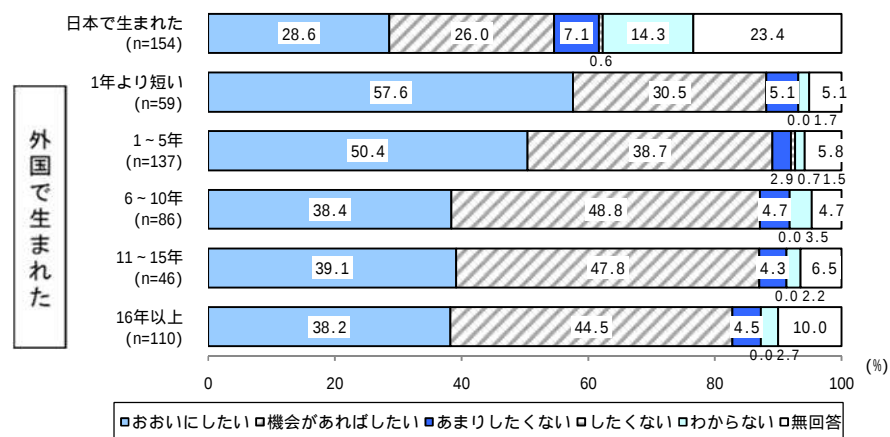


【日本在住年数別】

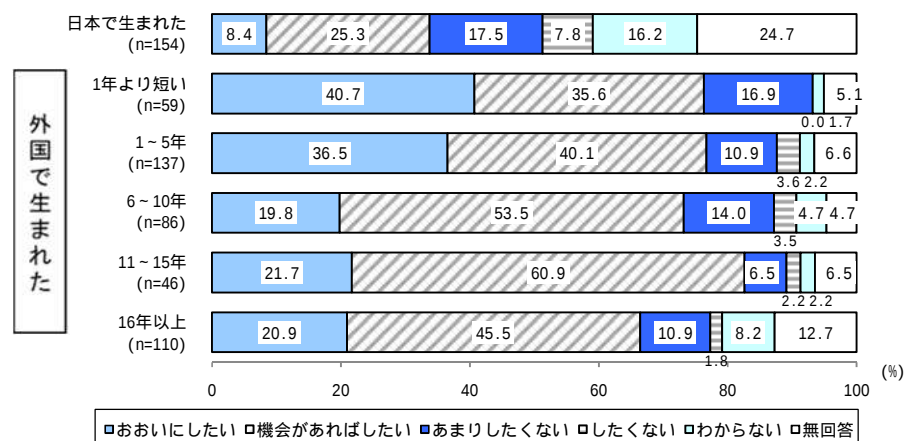
1 日本の文化、生活習慣を理解するよう努める



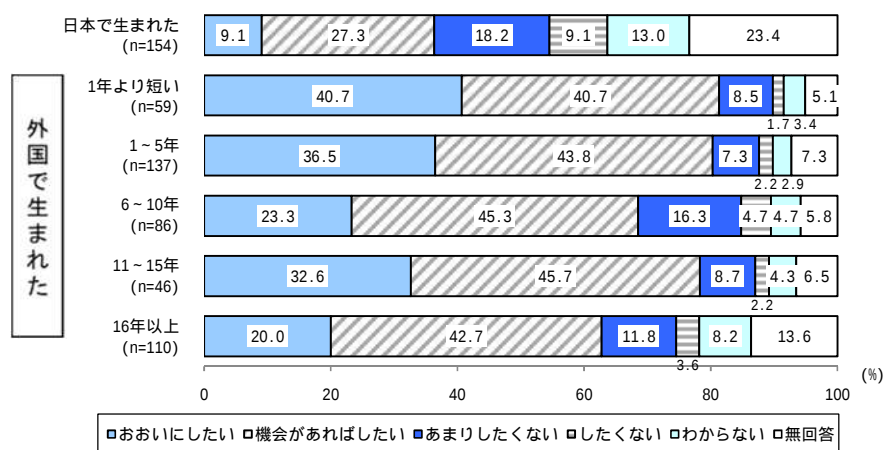
2 日頃から、日本人住民と言葉を交わす



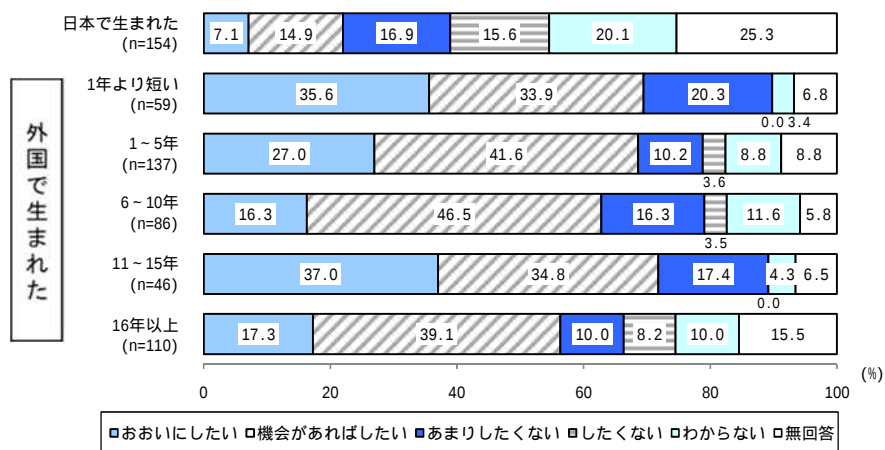
3 母国の言葉、文化を日本人住民に紹介する



4 地域の日本人の住民との交流会など、交流の行事に参加する

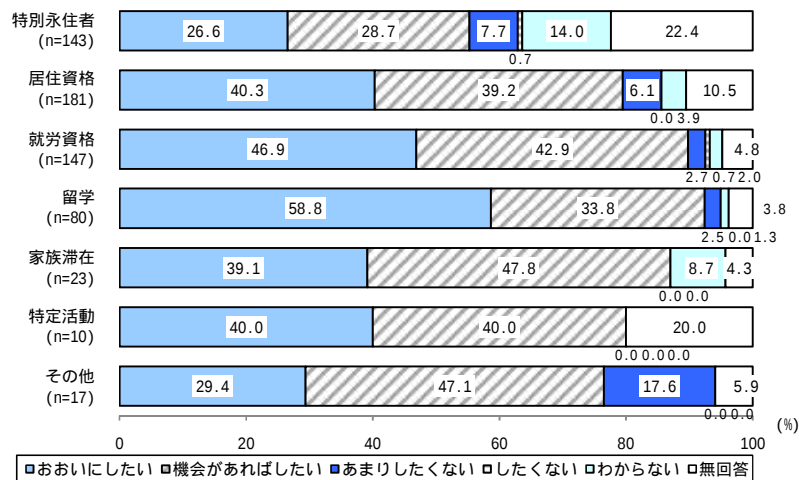


5 相談窓口などでの通訳や翻訳のボランティア

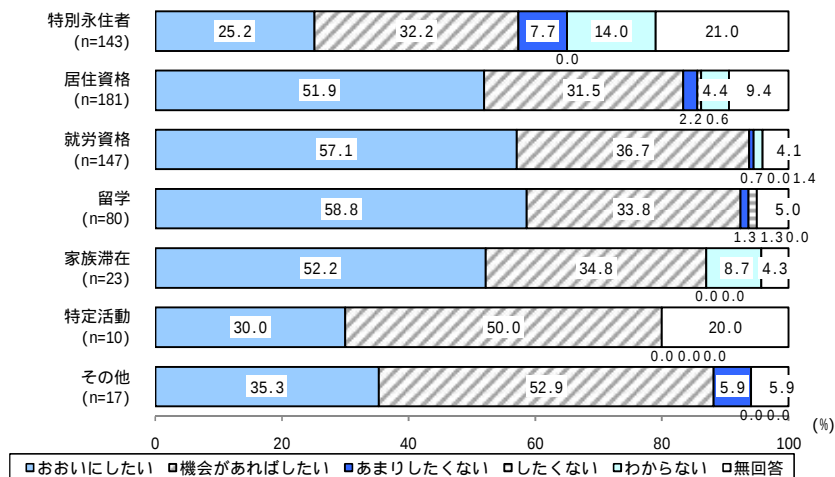


【在留資格別】

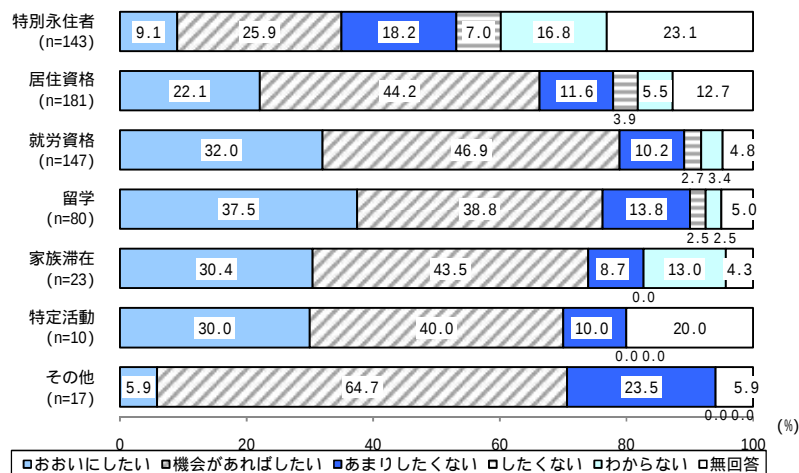
1 日本の文化、生活習慣を理解しよう努める



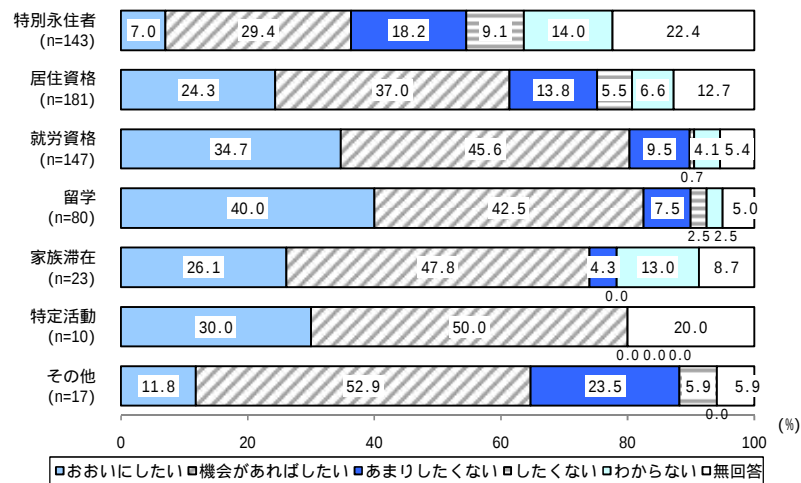
2 日頃から、日本人住民と言葉を交わす



3 母国の言葉、文化を日本人住民に紹介する



4 地域の日本人の住民との交流会など、交流の行事に参加する



5 相談窓口などでの通訳や翻訳のボランティア

